

|  |  |     |             |     |        |
|--|--|-----|-------------|-----|--------|
| 会 議 名  | 和幸セントラルハウス<br>運営懇談会  | 管理者 |             | 記録者 |        |
| 開催年月日  | 令和2年10月14日(水)  |     |             |     |        |
| 場 所  | 和幸セントラルハウス 交流ホール   | 時 間 | 14:00~14:45 |     |        |
| 会議出席者名   | 今村理事長、泉総務部長、明円業務執行理事、熊谷業務執行理事、加藤管理者、前多氏(中央地区民生委員)、木村氏(中央包括)、野呂氏(中央包括)、木立氏(オンブズマン)、肴倉氏(オンブズマン)、入居者A氏、入居者ご家族B氏、木村相談員 |     |             |     | 計 13 名 |
| <p>1. 理事長 挨拶</p> <p>本日はお忙しい所、お集りいただきまして誠にありがとうございます。本来であればもっと早い時期に開催するべきでしたが、コロナ禍という事で今まで開催を見合わせておりました。対応にも大分慣れてきた部分がございますので、いつまでも冬眠したふりをするわけにはいかないという事で開催に踏み切らせていただきました。本当にご協力ありがとうございます。今日は当法人の業務執行理事が勢ぞろいしており、それだけ力を入れているとお受け取りいただければと思います。コロナ禍で何を行っては駄目なのか、何を行ってもいいのかという線引きが難しい状況です。当法人では通所、入所の施設を運営していますが、入所施設であれば比較的ブロックはしやすい、入り口から入れなければいいという考えになり、春先から全て面会を禁止しましたが、それが暮らしの場としていいのかという悩みを抱えておりました。当法人の中には危険がないのだから、法人内であれば出来る事があるのではないかと考え直し、色々な事を始めてまいりました。ただ、最後まで躊躇したのが外部の皆様との交流です。特に一番酷なお願いをしていたのはご家族様です。東北6県内であればまだしも、感染拡大地域からのご家族の面会は今でもケースバイケースでお断りしております。ただ日程に余裕さえあれば、法人内で購入した抗体検査のキットを使用してから、面会をしていただく事も始めております。これから色々な事を私達も考えて進んでまいりたいと思いますので、ぜひ皆様のご意見をお聞かせいただければと思っている次第です。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>2. 出席者紹介 ※上記参照</p> <p>3. 入居状況 (令和2年10月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者 49名 (男性 15名 女性 34名)<br/>平均年齢 86.5歳 (最高齢者: 96歳 最低年齢者: 65歳)</li> <li>・介護度内訳<br/>自立・・・2名 要支援1・・・4名 要支援2・・・2名<br/>要介護1・・・20名 要介護2・・・10名 要介護3・・・6名 要介護4・・・4名 要介護5・・・1名<br/>平均介護度 1.93</li> </ul> |  |     |             |     |        |

<管理者より>

最高齢の96歳の方ですが、要介護5の女性で看取り対応を行っていましたが、10/6夜間帯に呼吸停止し、死亡退居されています。コロナの感染対策として、住宅の面会制限を行っていましたが、今月からご本人様と面会をしていただいております、居室にて一緒に過ごされておりました。老衰との診断で、先生の死亡確認後に自宅へ戻られています。また、10/11入院中の要介護4の男性の方ですが、病院の方でお亡くなりになりました。現時点での最高齢は95歳であり、要介護3と要介護1の女性、要介護2の男性の3名です。現在の平均介護度1.93、1年前の平均介護度は1.76でしたので、少しずつ入居者様の介護度が上がっている状況になっております。10/1時点での今年度の入退居状況についてですが、新規で入居された方は4名おり皆さん在宅からの入居になっています。退居された方は5名おり、内3名は施設への住み替えで、1名が看取りによる死亡退居、1名は在宅へ戻られている状況です。

昨年の会議の際、更新時に家賃を1万円値上げさせていただくという内容の話をしておりました。11月に3名更新の方がいらっしゃり、その3名を持ちまして全入居者様の契約更新の方が終了となります。ご本人様、ご家族様へはご負担をいただく事になりますが、これからも満足していただけるようなサービス提供に努めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

#### 4. 行事について

<相談員より>

4月から行っている行事について報告させていただきます。今年はコロナの関係もあり、今まで通りの開催とは行かず、配慮しながら実施してまいりました。

5月に花植えを行いました。セントラルの入居者様はお花好きな方が多いのですが、久しぶりに土を触る方が多く、入居者様同士で相談しながら行われていました。お花は玄関前に飾り、一緒に水やりをしたり、毎朝お花の様子を見にきたり、成長を楽しみにされている様子でした。次に7月に実施した和幸中央夏祭りです。本来であれば玄関入口前で法人の各拠点の職員が様々な出店を出し、ご家族様や地域の方々へもお声がけし盛大に行いますが、コロナの関係もあり今年は開催時間を短く、入居者様のみ参加とし、内々で開催させていただきました。館内での開催となりましたが、和幸保育園の園児によるよさこいから始まり、とても圧巻で入居者様に好評でした。密集をさける為に入居者様をグループにわけて交流ホールへ誘導し、軽食の提供、記念撮影、ゲームなどを楽しんでいただきました。余興はどじょうすくい・ダンスを行い、短い時間ではありましたが、少しでも楽しんでいただけるよう職員みんなで考えながら行いました。終了後には「大変な時に楽しませてもらってありがとう」と労いの言葉をかけて下さりました。

ねぶた囃子交流会では、暑い中一生懸命に踊る園児の姿を見て自然と笑顔になり、「よくこうやって覚えるもんだ」と感心されておりました。ねぶた囃子の披露もあり、「今年囃子聞けると思ってなかった」ととても喜ばれていました。交流会終了後には、青い森公園を散策、海の方へもドライブし、海を何年振りに見た方もおり、満足していただけたのではないかと思います。

法人大運動会では、運動会実行委員・保育園が中心となり、コロナ禍でどうすれば開催できるのか何度も検討し、様々な対策をとり行われました。園児と一緒に玉入れゲームに参加したり、体操したりと楽しまれておりました。会場へはマイクロバスでの移動でしたが、「遠足みたいで楽しいね」と話され、矢田の自然を見る事が出来、気分転換になったように思います。

敬老会では、傘寿の方が2名、米寿の方が1名、卒寿の方が2名いらっしゃり、感謝状と記念品の贈呈させていただきました。代表の入居者様より挨拶をいただき、「こうやってお祝いしてもらえるとって思っていなかった、長生きしてよかったです」とのお言葉をいただき、感極まる場面もありました。職員の余興では、ダンスを披露したり、和幸園にちなんだクイズ大会を行い、最後には記念撮影を行いました。和幸園では毎年、敬老のお祝いとしてタオルをプレゼントさせていただいておりますが、今年は職員でデザインを考え作成した特製の布マスクをプレゼントさせていただきました。

今後の行事として、11/1に1階食堂ホールにて「マグロの解体ショー」を行う予定となっております。これは和幸園全体で色々なイベントを行い盛り上げていく目的で、各拠点から集まった行事推進委員会が中心になって企画した行事です。解体ショーは矢田特養の調理員が入居者様の目の前で行って下さり、柵どりしたマグロは当日の昼食で入居者様に提供する予定です。今後も、工夫をしながら入居者様に少しでも楽しんでいただけるよう、行事を計画・実施していきたいと思っております。

#### 5. 入居者様より

<A氏より>

ここにお世話になってから2年半になります。その2年で何をしたのか考えてみると、ただ自分の事だけ考えてセントラルハウスの事は考えてもなかったと思えました。本当にお世話になっております。その日、その日満足しており、これ以上必要ないほどです。これから先もお世話になりますけど、宜しく願います。

<B氏より>

叔父が話した通り、同じ気持ちであります。本当にお世話になっております。これからもよろしく願い致します。

#### 6. 出席者様より

<泉総務部長>

コロナの中で色々行ってきて、このように改めて写真を見るとやって良かった、これからも行っていきたいと感じました。これからも法人一丸となり頑張っていきたいと思っております。

<明円業務執行理事>

セントラルハウスはほぼ満床であります。虐待等の緊急時の受け入れが出来るよう1床あけて対応しております。現在、49床で満床ですが、15名の待機者がおり、どこに優先順位をおいて入居を検討するのか理事長、管理者と相談しながら行っていきたいと思っておりますので、宜

しくお願いします。

<熊谷業務執行理事>

在宅部門という事でセントラルハウスに併設しているヘルパーステーション和幸佃の方で深く関わり、管理者の加藤と調整を行いながらやらせていただいています。出来るだけ皆さんがここで心地よく生活を継続していただけるように、ヘルパーの方でもお世話をしていきたいと考えておりますので、何かご意見等ありましたらお聞かせ下さい。よろしくお願いいたします。

<民生委員・前多氏>

今日、様々な行事を紹介していただき、このコロナ禍でとても凄いと感じました。中央地区も色々な行事が中止になってしまいました。民生委員としてお菓子を配りながら訪問をしたりしていますが、やはり直接お話が出来なかったり、外出も減りかなり寂しそうな様子でした。ここに入居者されている方の方が色々な行事に参加し、充実して幸せそうだなと感じました。このように法人で頑張ってこられた様子を見て、とても感心させていただきました。

<中央包括・木村氏>

セントラルハウスには担当入居者様が2名お世話になっております。ここ最近、体調を崩された方がいらっしゃったのですが、その都度連絡を下さっていたのでとても心強いなと感じておりました。要支援の方は元気ではありますが、その方の病気の状態も把握して下さっており、本当に感謝しております。また、コロナ禍での行事のやり方を見させてもらって、中央包括での行事も出来ていない状態でしたので、和幸園さんを参考にしながら地域の方との交流の場を、地域の方と一緒に勉強しながら行っていきたいと思っております。今日来て良かったと思いました。今後ともよろしくお願いいたします。

<中央包括・野呂氏>

今日はとても勉強になりました。コロナだからと完全に制限するのではなく、出来る事から始める姿勢をみて凄いなと思いました。今日は本当にありがとうございました。

<オンブズマン・齋藤氏>

私はセントラルハウスへは最近訪問し始めましたが、デイ佃へも今年お邪魔していました。ずっと和幸園はすごいなと感じており、マエダアリーナで運動会をやる施設は見た事がないです。入居者さんの事を色々と考えて、スタッフの方がお膳立てしてすごく頑張っているのを見て素晴らしいなと思っています。入居者さんはどういう風に思っているんだろうと考えた時、良い意見もあれば後ろ向きな意見の方もいらっしゃります。そういう方にはどのように関わっていけばいいのか考えながら、色々とお話をしていければと思っていますのでよろしくお願いいたします。

<オンブズマン・木立氏>

ずっとセントラルに来ていますが、内訳をみると意外と自立が少なく、もっと多いと思っていました。やはり、入居者さんはコロナの関係で面会制限がかかり、玄関で短い時間での面会になって、ストレスや寂しさを感じている方が多いと思います。その辺が大変なのかなと感じていました。ここにいると閉じ込められている感じがすると感じている方も中にはいるみたいなので、それが少し気になっていました。

<生活相談員より>

入居者様とお話していると、やはり家族と面会時間が少ない事や、外出する事が悪い事という風を感じている方もおり、不安を感じている入居者様が多かったですが、対策しながら少しずつ行事も増え、デイサービスも普段通りいけるようになり、前に比べると笑顔が増えてきたと感じています。私ももっと関わりの時間を大切にしていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

<理事長より>

皆様から頂いた言葉を、個々の胸の中で見返してみ、そしてこれからに役立たせていただきたいと思っております。和幸園の入居施設は同じものがないのが特徴であり、軽費老人ホーム、ケアハウス、認知症対応のグループホーム、青森市で一番大きい特養、地域密着型の特養というように全部対象者の方が法律的に異なります。その中でセントラルハウスは所謂生活自立している方から重度の方でも対応出来る施設となっておりますが、実はそうではありません。自立している方はどこにお住みになっても同じですが、重度の方に対応出来るのはヘルパーステーション、セントラルで用意しているオプションサービスを使って対応しているという事です。決して特養と全く同じような事が出来る訳ではなく、訪問看護の利用されている方もおり、総合的な地域の力を持って看取り対応も行います。オンブズマンさんからもお話があったように、確かに満足いく住処として和幸セントラルハウスは、今のままでいいのかと疑問を持ちながら先程見ていただいた行事も行いました。これに関しては法人内でも反対意見がありましたが、私はやるべきだという意見を展開させていただきました。少なくともあと1年は今のようもやもやした状態が続くと思っておりますが、出来る事、出来ない事を考え、専門科にもご相談させていただき皆で共有しながら行っていきたいと思っております。また、先程紹介した入居状況には入っておりませんが、先週まで緊急入居で1名入居されておりました。これは市内の港町での火事でお住まいをなくした方がおり、県社協で行っているしあわせネットワークから居住先と食糧支援をして欲しいと依頼がありました。ホテル代の援助を依頼されましたが、人生終盤で全てを無くされた方にホテルで暮らしていただいていいのかという事で、セントラルハウスの空き部屋を無償提供させていただき、食事代だけしあわせネットワークの補助で提供させていただきました。無事、公立の施設への入居が決まり、退居されております。何かあった時に幅が広い利用者をお預かり出来る施設として、和幸園の中では大事な地域貢献の核のひとつだと思っておりますので、皆様から困ったことがございましたらご相談下さい。空室は1~2つなのでいつでも対応できるという事ではありませんが、和幸園のどこかの施設ではお預かり可能であるという事も含めて皆様に報告させていただきました。これからもご指導の程よろしくお願い致します。

## 8. その他

<管理者より>

次回の会議ですが、半年ごとで開催させていただいておりますので、令和3年の4月の予定しております。近くなりましたら、参加のお声がけをさせていただきたいと思っております。本日はお

忙しい中、お集りいただきまして、ありがとうございました。